

石川県生協連だより

第91号

石川県生活協同組合連合会
 〒920-0362 金沢市古府2-189
 コープいしかわ古府センター2F
 TEL076-259-5962 FAX076-259-5963
 http://ishikenren.jp

発行日/2017年11月25日
 発行責任者/横山 和男

平和パネル展を開催

●8月3日(木)～17日(木)
 ●県庁19階展望ロビーにて

反核平和おりづる市民のつどい実行委員会では、2005年から県庁で「原爆と人間展」を開催しています。

今年は「原爆と人間展」のパネルに加え、広島で救援活動をされた牧野俊介氏の体験絵画10点を展示しました。牧野氏は、原爆が落とされた翌日広島に救援に入り、ご自身も被爆。86歳の時、当時の苦しく悲惨な記憶を絵にして後世に伝えようと「ヒロシマ」の惨状を描き残されました。



牧野俊介氏の体験絵画

また、友禅絵師志田弘子さんの染め絵2点も展示され、子を想う母親の姿がやさしいタッチで描かれています。会場に置いた感想ノートには「平和のパネル展を毎年見に来ています。幼い子どもまで犠牲にするなんてむごいです…」など、平和への想いや核兵器の恐ろしさが綴られていました。

◆オープニングセレモニー

平和のパネル展初日は約30名が参加し、オープニングセレモニーを開催しました。

主催者挨拶として、県原爆被災者友の会会長西本多美子氏のメッセージが同会事務局長池田治夫氏より披露され、続いて来賓の石川県健康福祉部健康推進課長相川広一氏、県議会議員盛本芳久氏、同じく佐藤正幸氏からご挨拶をいただきました。

その後交流ホールでスクリーンで友の会が制作したDVD「この空を見上げて」石川・被爆者たちの証言(第一部)子どもたちが見たヒロシマ・ナガサキ」より当時子どもだった被爆者4



のまりんによる新作紙芝居「ヒロシマの少年じろうちゃん」の上演

人の証言が上映されました。

次に「のまりん」こと野間成之さんによる新作紙芝居「ヒロシマの少年じろうちゃん」が上演されました。この紙芝居は西本会長の提案で絵本『ヒロシマの少年じろうちゃん』を実行委員と野間氏の手で紙芝居にしたものです。「建物の撤去作業中に被爆し、友達を失いひとり生き残った少年じろうちゃん。70年も口も心も閉ざしたまま人生を送り、2011年の東京電力福島第一原発事故をきっかけに「伝えることが供養になる」と自分の体験を語り始めた」という物語です。他「はだしのゲン」3巻・5巻が上演されました。

(生協連 加藤 喜美子)

役職員研修 「生協法の基礎」に参加して

●8月4日(金) ●石川県学校生活協同組合 会議室

生協法を知る

先日、職場で「生協法の基礎」という題目の役職員研修会が開かれ、自分も入協間もない職員ながら参加した。日本生協連の総合運営本部から宮部好広さんがおいでになり、講演が行われた。

こういった場に参加するのは初めてだったため恐々だったが、実際始まるとロツヂデールから、生協の成り立ち、歴史と、細やかにわかりやすく説明してくださり、なかでも「最大奉仕の原則」(組合は、その行う事業によつて、その組合員及び会員



講師の宮部氏



研修会のようす

に最大の奉仕をすることを目的とし、営利を目的としてその事業を行つてはならない)これが生協。かくあるべき。良い響きであるなど感じた。普段何気なく日々の仕事をこなしていた自分にとつて、新鮮かつ興味深い話を聞くことができ、「生協の在り方」というものを改めて学ぶよい機会になった。機会があればぜひ、今度はもつと踏み込んだ話を聞いてみたい。

(学校生協 笹山 大地)

夏の風物詩 「いしかわ環境フェア」

●8月19日(土)・20日(日) ●石川県産業展示館 4号館

私にとつて夏の風物詩は、「いしかわ環境フェア」。以前は終戦記念日と夏の甲子園だった。高校球児が少年兵に見えて切なかつたが、最近の彼らは体格もよく、中高年の思い入れとはギャップがある。ともあれ、わくわく感じっぱいで産業展示館へと向かう。

外は今年の夏を象徴する蒸し暑さ。会場は省エネ温度に設定されている



県生協連のブース

だろうが、きつと快適なはず。急いで館内へ。「暑い。」あつという間に額から汗。首からタオルを下げたお父さんも多い。ここはキャンプ場か。運営マニュアルなのか、湿度が高いだけで、冷房フル回転の基準に達していないだけかもしれない。「これを我慢するのが、エコな生協人なのだ。ははは。」そうつぶやきながらコーナを回った。主催者発表では、両日の来場者は過去最高の27500人ののぼったという。その熱気だったのだろうか。

今回の生協連は「エシカル消費」を中心にコープ北陸のサンゴ植え付け支援、金大生協のリサイクル弁当容器、コープいしかわの能登振興などが紹介され、私はエシカルを説くパンフレットをゲットした。「ラブコ」や「コーすけ」の缶バッジづくりにトライする子どもたちの笑顔が印象的で、暑さに負けない姿に元気をもらった。夏の終わり、第28回の環境フェアである。

(学校生協 滝内 敏之)

石川県防災総合訓練に参加

●9月3日(日)
●金沢市千坂小学校

石川県生協連は県との災害時における生活物資の供給・確保に関する協力協定に基づき、日頃からの防災体制の強化・連携を図るため、毎年訓練に参加しています。

今回は森本・富樫断層帯を震源とするマグニチュード7.2(震度6強)の地震が発生し、金沢市に大きな被害が発生したという想定でした。訓練内容は、日本生協連からコープいしかわ鶴来センターに届いた支援物資を、避難所の千坂小学校に届けるというものです。



支援物資を避難所へ届ける訓練

県の総合防災訓練に初めて参加しました。配送トラックのフロントに「緊急物資輸送車」の旗を掲げて向かっ

た千坂小学校の校庭では、炊き出しや水道水の配給など避難所運営の訓練も行われていました。住民の方々の真剣かつ積極的な参加が印象的でした。「コープさん」「生協さん」と親しみを持って話しかけてくださる方も多く、平常時から信頼の積み重ねが非常時の安心に寄与すると感じました。

(コープいしかわ鶴来センター
センター長 藤岡 潤)

近年稀にみる自然災害の多さにとっても不安の日々を過ごされている方も多いと思います。そんな中今回初めて訓練に参加し、地域の方々の防災に対する意識が高いことに驚き、身近に迫っている危機感を感じました。日々報道される世界で起こっている災害を見て、「実際発生したら…」と考えた時に何もできないことに改めて気づかされました。今回の参加をきっかけに、防災について家族と会話するよい機会となりました。

(コープいしかわ鶴来センター
副センター長 大岡 和美)

NPO法人 消費者支援ネットワークいしかわの活動

あなたの消費で社会が変わる 「グッドチョイス・セミナー」開催

●9月11日(月)から全5回 ●石川県女性センター

私たちが日頃の消費活動で選択している商品やサービスは、材料の調達、生産、加工、流通、利用、廃棄などさまざまな場面で社会や未来、地球環境などに影響を及ぼしています。今年は公正で持続可能な社会の形成に積極的に参加する「消費者市民社会」の構築を図るため、5回にわたりセミナーを開催しました。

●講座テーマ

- ① ガイダンス・消費者市民社会とは
- ② インターネットとの安全な付き合い方
- ③ 食選力を身につけよう
- ④ 私達の声で社会を変えよう
- ⑤ エシカル消費と私達にできること



第2回の講座のようす

■第2回「インターネットとの安全な付き合い方」を受講して

私は毎日複数の便利な通信機器を気軽に使っています。携帯電話は電話・メールのやり取りのみです。そしてパソコン・タブレットと。その中でも「インターネット」は知識もないうまま便利に使用してちよっぴり怖い思いも体験しました。この講座でインターネットの仕組み・メールの仕組み等わかりやすく例題をあげて説明していただきました。安心して使うためには、恐怖をおおるような表現の画面・なりすましの怪しい画像に注意すること、「無視」することの大切さ、危険から身を守るために安易にアクセスせず詐欺などに合わぬようウイルス対策も導入すること、慌てることなく落ち着いて冷静に、等。諸注意を参考にして、また便利な機器と付き合い合っていきたいと思いました。

(消費者支援ネットワークいしかわ
山崎 陽子(金沢エコライフくらぶ))

会員生協紹介

コープいしかわ コープマルシェ 2017南加賀で開催

●9月3日(日) ●根上総合文化会館タント円形ホール



にぎわう会場のようす

地元をはじめ、全国から集まった生産者・メーカー59社と、コープいしかわの組合員とご家族約1200名が販売や試食を通して1日限りのお買物市場を楽しみました。

コープマルシェは、コープいしかわの店舗がまだない地域でも、生産者・メーカーと直接ふれあいながらお買物ができる機会として企画し、今回初めて開催しました。駐車場や会場の広さを考慮して、第1部から第3部の時間帯に区切り、事前申込制にしたことで、ゆっくりとお買物や交流をすることができました。



買い物を楽しむ参加者

会場内では、商品カタログ『コープファミリー』や『じわもーる』でおなじみの生産者やメーカーが、試食品を勧めながら熱心に商品のこだわりや作り手の思いをお話しし、参加者が感心したり、納得したりする風景が会場のあちこちで見られました。

参加者は普段、カタログで見ることのない商品を、作り手の顔を見ながら購入することができ、知らなかった商品を発見したり、「今度カタログに見つけたら買いますね」など、お気に入り商品の見つけたりしていました。

(コープいしかわ 坂本 和代)

金沢医療生協 ボランティア研修会

「地域包括ケアシステム構築の時代にボランティア組織に求められる力と役割について」

●9月13日(水) ●松ヶ枝福祉館

「ソーシャルワーカー」とは、生活する上で困っている人や生活に不安を抱いている人に対して関係を構築し、問題解決のための援助を提供する専門家です。家事のこと、身近に起きた日常の事柄等を例に挙げながら、ピストン式に出る講師のソーシャルワーカー馬渡さんの言葉に聞き入りました。

「地域の方々、ボランティアの方々、皆の力を結集して組織を利用しながら高齢者時代を生き抜いていかなければなりません。」



「自分のできること」を貼り出すようす

あなたも私も、地域の大切な社会資源として捉え、各自の役割を振り返ってみましょう。私にしかできないこと、私のできることをその地域に役立てましょう。『夏休み子ども食堂』にいろいろな方々の援助があること、例えば居酒屋に貯金箱を置く、乾杯チャリティーとしての寄付を行う等々。老いてくるとピツク病が進んできます。アルツハイマー病、初期痴呆症等徘徊も進んできます。このような人々を優しく自由な外回りとして見守りましょう」

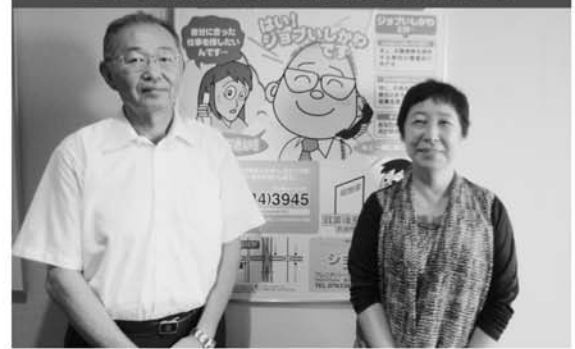
最後に出席者全員で「自分のできること」を書いて貼り出しました。結集した各自の力の大きさに感心しました。

地域の中でしか解決できない課題があります。専門職ネットワーク等を利用しながら、健康で目標をもって長寿社会を生き抜きたいと思えます。

(金沢医療生協ひまわりボランティアグループ 広瀬 勝子)



石川県労働者福祉協議会



石川県労働者福祉協議会専務理事 中川博氏(左)と石川県生協連の青海専務理事(右)

石川県内における労働者福祉の向上を目指して、勤労者、退職者をはじめ広く県民の「暮らしの総合サポートセンター」としてさまざまな事業の運営を行っている石川県労働者福祉協議会の中川博専務理事を訪ね、お話を聞きました。

青海 発足されたのはいつですか？
中川 戦後、労働者の生活が非常に苦しく、食料や生活物資の確保が難しい中で「福祉は二つ」の一点で生協や労働組合が枠組みやイデオロギを超えて集まって発足したのが中央労福協(労働者福祉中央協議会)の始まりです。1952年大阪を皮切

りに各地で県労福協が設立され、1963年には石川県、1975年の沖縄で全都道府県に一つずつ労福協ができました。
青海 労福協の構成団体は？
中川 労働団体では連合、福祉事業団体として生協連、ろうきん、全労済、労信協など7団体計8団体が労福協に結集しています。

青海 具体的な活動をご紹介ください。
中川 労働者と家族と地域を結び生涯福祉の実現を目指して活動している地域ライフ・サポートセンターが県内9か所にあります。労福協や地域ライフ・サポートセンターが拠点となつて、「福祉なんでも相談窓口」「無料職業紹介所・ジョブいしかわ」「労福協・子育て支援ネットワーク事業」などの運営を行っています。障がい者とのグラントゴルフ大会、退職者の生活設計のためのセミナー、自治体が運営するファミリーサポートセンターの利用料金を補助するなど、さまざまな活動を行っています。

青海 婚活支援もしているんですか？
中川 春と夏の年2回開いています。日中レストランでノンアルコールで開催してるんですよ。これまでに3組のカップルがめでたく結婚されました。また「ジョブいしかわ」では、ハローワークと連携しながら丁寧な対応を心掛けて再就職の相談にのっています。60才以上の方の相談が多く、老後の生活の大変さを実感しますね。そして、この会館「フレンドパーク石川(石川県勤労者福祉文化会館)」の管理を行っています。各種会議や研修会、試験会場等にも利用していただいています。また金沢市の姉妹都市の一つでもあります。中国蘇州市の総工会(労働組合組織)とも友好交流を行って今年で31年目になります。そのほか連合が中心になつて休耕田を借りてお米を育て、アフリカのマリ共和国やカンボジアの飢餓に苦しむ子どもたちにお米を送っています。

青海 自治体への政策要請も行っていきますね。
中川 はい。格差・貧困社会の是正、セーフティネットの強化、くらしの安全・安心の確保などについて、年に一度、県と県下19の全自治体に政策要請を行っています。
青海 県も要請に応じて食の安全条例を作りまし。最近では格差、貧困

の問題がクローズアップされてきて大きな要請項目になってきましたね。
中川 要請の内容は地域に関する部分が多分大きくて、食の安全など生協連さんに関連する課題のウエイトが高くなってきますね。フードバンクや子ども食堂、生活困窮者の救済についてなど、要請事項の大きな核になってきているのが生協連さんです。生協連なくしては石川県ではフードバンクも子ども食堂も前に進まないのではないかと思います。
青海 子ども食堂では、子どもたちに無償で食事を提供するので食材の調達課題となります。フードバンクの支援があればもっと増えていくと思います。

中川 子ども食堂とフードバンクのネットワークが絶対に必要なんです。そこを生協連さんと一緒に大きく育てていきたいですね。
青海 中川専務には、生協連も構成団体となっている適格消費者団体NPO法人消費者支援ネットワークいしかわの理事になっていただいています。
中川 消費者目線で色々な課題を取り上げていくようすを初めて目の当たりにしました。
青海 労働者は消費者でもあります。これからも連携を深めていきたいですね。

◆県生協連活動日誌◆

- 8月 1 NPO法人消費者支援ネットワークいしかわ(CSNI)委託事業 草の根講師コーディネート 能美市
2 第2回理事会 古府センター
3 ~17 平和のパネル展 県庁19階展望ロビー
4 役職員研修 学校生協会議室
7 CSNI能登地区意見交換会 七尾市役所
9 健康・省エネ住宅を推進する国民会議② コープ北陸
10 地方消費者フォーラム3県実行委員会① 労済会館
21 反核・平和おりづる市民のつどい実行委員会⑥ 石川県保険医協会
22 企画運営委員会⑤ 生協連事務所
22 労協協事業団体連絡会議③ フレンドパーク
22 県防災総合訓練打ち合わせ会議③ 県庁
24 CSNI(委託)高齢消費者見守りネットワークマニュアル編集会議① 県庁
26 CSNI理事会③ 県女性センター
30 CSNI(委託)食品表示調査まとめの会 コープたまぼこ
- 9月 3 県防災総合訓練 金沢市
4 県消費者大会実行委員会① 労協協
6 第2回三役会 金沢赤十字病院
7 広報委員会② 生協連事務所
7 中部液化石油ガス懇談会(中部地方) アパホテル
9 ~10 第23回適格消費者団体連絡協議会 北海道
11 CSNI(委託)グッドチョイスセミナー(全5回) 県女性センター
11 地方消費者フォーラム3県実行委員会② 労済会館
13 CSNI消費者部会③ 県NPO活動支援センター
15 静岡県生協連50周年式典 静岡
17 広がれ!こども食堂の輪in北陸 県地場産大ホール
19 企画運営委員会⑥ 生協連事務所
23 国連核兵器廃絶デー 近江町交流プラザ
25 CSNI金沢地区意見交換会 近江町交流プラザ
28 地連運営委員会②、県連活動推進会議 名古屋
29 反核・平和おりづる市民のつどい実行委員会⑦ 松ヶ枝福祉館
30 CSNIコープいしかわ出前講座 根上町
- 10月 4 第3回理事会 古府センター
12 CSNI(委託)特殊詐欺防止対応力アップセミナー(全10回) 県立美術館
13 東海北陸生協行政合同会議 静岡
15 ヒバクシャ国際署名キャンペーンイベントin金沢 林田光弘講演会 松ヶ枝福祉館
18 企画運営委員会⑦ 生協連事務所
19 CSNI専門部会③ 近江町交流プラザ
23 地方消費者フォーラム3県実行委員会③ 富山
27 CSNI(委託)シニアのためのインターネット講座(全2回) 県女性センター

生協連・会員生協 行事

- 特別記念講演「サッカー解説者 北澤 豪氏トークショー」/学校生協
日時 2017年12月2日(土)12:00~
場所 ANAクラウンプラザホテル金沢 3階鳳の間
- てんとう虫教室 /金沢医療生協
日時 2017年12月2日(土)10:00~
2018年2月3日(土)、3月3日(土)10:00~
場所 金沢医療生協
- 石川県行政との懇談会 /県生協連
日時 2017年12月20日(水)13:30~15:00
場所 石川県庁会議室
参加者 石川県生活環境部生活安全課
石川県危機管理監室危機対策課
生協連役職員
- フラワーアレンジメント /金沢医療生協
日時 2017年12月23日(土)10:00~
場所 金沢医療生協
- 留学生交流企画 /金大生協
日時 2017年12月26日(火)(予定)
場所 金沢大学生協 自然研食堂
- 2017年度第4回重点商品学習会 /コープ北陸事業連合
日時 2018年1月19日(金)10:00~15:00
場所 金沢勤労者プラザ 101研修室・他
- 100円カレー(組員還元企画) /金大生協
日時 2018年1月11日(木)(予定)
場所 金沢大学生協 各食堂
- 第28回学校生協ボウリング大会 /学校生協
日時 2018年2月10日(土)10:00~12:00
場所 コロナキャットボウル金沢
- Table for Two 企画メニュー提供 /金大生協
日時 2018年1月29日(月)~2月2日(金)
場所 金沢大学生協 北福利・大学会館・自然研・保健食堂
- 2018年度第1回重点商品学習会 /コープ北陸事業連合
日時 2018年3月16日(金)10:00~15:00
場所 金沢勤労者プラザ 101研修室・他
- 2017年度産直研究交流会 /コープ北陸事業連合
日時 2018年3月17日(土)10:00~15:00(予定)
場所 金沢労済会館(予定)

編集
後記

生協連に求められる役割は規模の大小にかかわらず同じ、といわれます。少ない常勤役員と職員でできることには限りがありますが、求められる役割は増えこそすれ減ることはありません。地域生協の統一が済んだ石川県では、協同組合間の連携、新たな生協づくり、諸団体や行政とともに地域課題にどう取り組むか、などが生協連の果たすべき課題となってきます。生協そして生協連のめざす姿、あり方を会員生協とともにじっくりと描いていきたいと思ひます。

(専務理事 青海万里子)